

2012 年度第 2 回 (通算第 239 回) 幹事校会記録

日時：2012 年 7 月 18 日 (水) 14:00~17:00

場所：大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス (大阪駅前第 3 ビル 19 階)

出席 (9 校 17 名)：

追手門学院大学	(井ノロ淳三) (田中耕二郎)
大阪音楽大学	(大前哲彦)
大阪工業大学	(酒井恵子) (疋田祥人)
大阪産業大学	(山田全紀) (谷田信一) (木村忠雄) (西口利文) (入江二郎)
関西大学	(原徹) (広瀬義徳) (若槻健)
近畿大学	(杉浦健)
四天王寺大学	(八木成和)
摂南大学	(吉田佐治子)
桃山学院大学	(松岡敬興)

司会：山田全紀

記録：大前哲彦

議事：

- (1) 2011 年度第 6 回幹事校会および 2012 年度第 1 回幹事校会の記録確認
配付資料に基づき記録案の確認が行われ、これを了承した。ただし、書式統一の必要性が提起され、事務局に一任することにした。
- (2) 阪神教協 2012 年度定期総会の記録確認
配付資料に基づき記録案の確認が行われ、これを了承した。
- (3) 全私教協理事会、教員養成制度検討委員会報告および研究交流集会について
 - ・2011 年度全私教協第 7 回理事会について疋田祥人理事より 2012・2013 年度教員養成制度検討委員会の全私教協選出委員について委員名簿 (訂正版) を示しながら、結果的に阪神地区からは、池上徹氏 (田子委員長推薦) を含む 4 名が委員となった旨報告された。また、意見募集に対して文部科学大臣宛に『「教職生活の全体を通じた教員の資質向上の総合的な向上方策について (審議のまとめ)」に対する意見』を 6 月 6 日に提出した旨、提出文章を示しながら報告された。
 - ・これに関連して、今後の教員養成制度改革に関して、阪神教協の立場をはっきり示していく必要性について議論が交わされた。今回の意見書に関して、田子委員長に意見を具申したが、ほとんど聞き入れてもらえなかった (谷田氏) 等々。教員養成制度委員会については、次回に報告をお願いする。
 - ・2012 年度全私教協第 1 回理事会について疋田祥人理事より 2013 年度教職課程運営に関する研究交流集会が阪神地区の担当になった旨の報告があり、会場校について協議した。疋田理事から八戸での研究集会の参加者は 105 人、京都での参加者は 157 人、情報交換会は 100 人程度の参加者であったという情報が提供され、交通の便が良い所が望まれているとの発言があった。そこで、関西大学が会場校候補として推薦され、持ち帰って検討してもらうことになった。

- ・これと共に、全私教協の 14・15 年度副会長校、16・17 年度会長校・事務局校候補について、11 月までに決定する。近畿大学、関西学院大学の名前があがり、当該校に検討をお願いすることになった。
 - ・「全私理事会報告」の表記を「疋田氏による報告」と付記する。
- (4) 2012 年度第 2 回および第 3 回課題研究会の運営について
- ・次回課題研究会は、例年より 1 ヶ月早めて、予想される今夏の中教審答申に対応して、10 月 17 日または 24 日に、大阪産業大学にて、「教員養成制度改革」をめぐって、研究会、シンポジウム等を計画する。具体的内容については、全私の委員である谷田氏、疋田氏を中心に、藤本氏、池上氏その他ゲストを含めた人選で企画をお願いする。会場としては、大阪産業大学以外に、コンソーシアム大阪等を含めて考えることにする。
 - ・第 3 回については、12 月に、課程申請報告、実地視察報告等、例年通り事務担当者主体の研究会を開催する。
- (5) 阪神教協レポート編集について
- 八木成和新編集委員より、11 月に編集方針を出し、550 部の印刷、抜き刷りは 30 部とし、印刷業者から発送してもらうことも考えたとの報告があった。
- (6) 『阪神教協教職課程データベース（平成 23 年度版）』について
- 酒井恵子前事務局長から会員校アンケートの編集整理が遅れていることへのお詫びが述べられ、今年度の会員校アンケートは大阪産業大学の封筒で 2013 年 2 月頃に発送してもらったら良いのではないかという意見が出された。これを事務局としても了承した。
- (7) 幹事校会名簿およびメーリングリストの更新について
- 事務局から幹事校会案内状送付者が、2012 年 7 月 18 日現在で 15 大学 36 人、幹事校会メーリングリスト登録者が、15 大学 44 人になっている旨の報告が名簿を示しながらなされた。
- (8) 事務局報告、会費納入状況およびホームページ管理運営等
- ・会費納入状況について 1 校のみが未納であるが、これについては大学会計の都合で 7 月末になる旨のメールをもらっているとの報告があった。
 - ・ホームページについては、今回から事務局の便宜上、簡便な大容量の新しい管理ソフトを導入し、サーバ費用含めて、月額 8900 円で運用を始めた旨の報告があった。申し込みフォーム等を新規作成することによって、事務研修会、課題研究会等への参加登録が自動化されているとの説明があった。この様式等の事後承認の提案があり、了承された。また、これに伴って、プロバイダーの変更等についても、ホームページ運用・管理方針の面から、今後の検討課題とすることで合意した。
- (9) 今後の記録担当について
- ・幹事校会の記録担当として 2012 年 7 月は大阪音楽大学、10 月は桃山学院大学、12 月は四天王寺大学に決まった。
 - ・課題研究会の記録（質疑応答部分）の担当として 2012 年 10 月は大阪音楽大学、12 月は大阪工業大学に決まった。
- (10) その他、
- ・本年度第一回教員免許事務セミナーの報告および次回計画案内が原徹氏よりあった。

- ・大前哲彦氏より履修カルテの具体的な検討依頼があり、意見交換があった。